

## 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記  
継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。
2. 重要な会計方針
  - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
    - ① 満期保有目的の債券  
償却原価法(定額法)を採用している。
    - ② 満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券  
該当なし。
  - (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
原価法によって行っている。
  - (3) 固定資産の減価償却の方法
    - ① 建物・車両運搬具・什器備品  
該当なし。
    - ② リース資産  
該当なし。
  - (4) 引当金の計上基準
    - ① 賞与引当金  
職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上している。
    - ② 貸倒引当金  
該当なし。
    - ③ 退職給与引当金  
職員の退職金の支給に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
    - ④ 役員退任慰労引当金  
該当なし。
  - (5) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
3. 会計方針の変更
  - (1) 子牛生産者積立金及びマルキン基金等  
固定負債から指定正味財産に振替えた。
  - (2) 書籍販売及び証紙販売  
手数料等収益を計上していたが、今年度より仕入れ・売上等収支科目を計上した。
  - (3) 貯蔵品  
証紙と切手については、年度末日に棚卸を行い、在庫を貯蔵品に振替えた。
  - (4) 有価証券未収利息  
有価証券未収利息については、今年度より計上した。
4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高  
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
預り出資金資産	166,300,000	104,912,610	105,426,953	165,785,657
退職給与引当資産	28,645,417	23,757,612	21,730,337	30,672,692
減価償却引当資産	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
子牛生産者積立資産	53,095,650	11,789,350	64,885,000	0
子牛生産者積立準備資産	81,080,480	64,677,875	3,314,850	142,443,505
子牛特別積立資産	45,986,212	188,000	24,000	46,150,212
子牛償還円滑化積立資産	4,279,463	853	0	4,280,316
マルキン基金資産	727,811,900	885,748,000	76,916,200	1,536,643,700
合 計	1,108,199,122	1,092,074,300	273,297,340	1,926,976,082

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳  
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財 産からの充当額	うち一般正味財 産からの充当額	うち負債に対応 する額
特定資産				
預り出資金資産	165,785,657	0	0	165,785,657
退職給与引当資産	30,672,692	0	0	30,672,692
減価償却引当資産	1,000,000	0	1,000,000	0
子牛生産者積立資産	0	0	0	0
子牛生産者積立準備資産	142,443,505	142,443,505	0	0
子牛特別積立資産	46,150,212	46,150,212	0	0
子牛償還円滑化積立資産	4,280,316	4,280,316	0	0
マルキン基金資産	1,536,643,700	1,536,643,700	0	0
合 計	1,926,976,082	1,729,517,733	1,000,000	196,458,349

6. 担保に供している資産  
該当なし。

7. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高  
固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(JA三重ビル5階1室)	2,180,993	2,180,992	1
合 計	2,180,993	2,180,992	1

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該資産の当期末残高  
債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該資産の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当 期末残高	債権の当期末残 高
未収金			
畜産特別資金等推進指導事業・中央畜産会	1,769,334	0	1,769,334
肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業・機構	2,278,624	0	2,278,624
肉用牛繁殖経営支援事業・機構	359,819	0	359,819
家畜防疫互助基金支援事業・機構	480,398	0	480,398
肉用牛肥育経営安定特別対策事業・機構	3,965,540	0	3,965,540
畜産経営技術高度化促進事業・三重県	1,815,000	0	1,815,000
三重の畜産ブランド力向上支援事業・三重県	1,600,000	0	1,600,000
飼料稲種子取扱事務受託事業・三重県	50,000	0	50,000
畜産関係団体調整機能強化事業・中央畜産会	166,905	0	166,905
家畜飼養管理促進事業・中央畜産会	237,417	0	237,417
馬インフルエンザ等防疫強化対策事業・中央畜産会	93,070	0	93,070
養豚経営安定対策事業・機構	254,006	0	254,006
肉用牛産肉能力平準化促進事業・家畜改良事業団	105,000	0	105,000
養豚事業手数料・生産者	606,250	0	606,250
死亡牛処理経費・生産者	1,970,410	0	1,970,410
死亡牛処理管理手数料・生産者	56,000	0	56,000
有価証券未収利息・野村証券、大和証券	145,465	0	145,465
証紙売上料・生産者	7,220	0	7,220
管理費・馬事協議会等	69,361	0	69,361
前払金			
27年度飼料稲種子の送料・JA等	239,604	0	239,604
合 計	16,269,423	0	16,269,423

9. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第136回利付国債(20年)	31,015,748	34,480,570	3,464,822
第139回利付国債(20年)	24,873,139	27,670,000	2,796,861
第143回利付国債(20年)	4,996,770	5,507,000	510,230
神戸市第14回公債(30年)	100,000,000	101,050,000	1,050,000
合 計	160,885,657	168,707,570	7,821,913

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	BS上の記載区分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>(補助金)</b>						
畜産経営技術指導事業	地全協		0	5,512,000	5,512,000	0
畜産特別資金推進事業	中畜		0	1,769,334	1,769,334	0
衛生体制強化基金事業	中畜		0	19,000	19,000	0
豚緊急体制整備事業	三重県		0	13,019,133	13,019,133	0
子牛積立金	機構	指定 正味	26,547,825	5,763,400	32,311,225	0
子牛積立金	三重県	指定 正味	13,273,912	2,881,700	16,155,612	0
子牛補給金運営適正事業	機構		0	9,089,761	9,089,761	0
肉用牛繁殖経営支援事業	機構		0	1,294,398	1,294,398	0
家畜防疫互助基金支援事業	機構		0	480,398	480,398	0
マルキン基金	機構	指定 正味	545,858,925	664,311,000	57,687,150	1,152,482,775
マルキン経営安定対策事業	機構		0	7,078,510	7,078,510	0
マルキン2-3月交付業務	機構		0	384,048	384,048	0
死亡牛緊急検査推進事業	農水省		0	8,394,000	8,394,000	0
家畜生産農場支援事業	農水省		0	1,425,465	1,425,465	0
<b>(受託金)</b>						
畜産経営技術高度化事業	三重県		0	1,815,000	1,815,000	0
三重のブランド力支援事業	三重県		0	1,600,000	1,600,000	0
飼料稲種子取扱事業	三重県		0	50,000	50,000	0
畜産団体調整機能強化事業	中畜		0	166,905	166,905	0
家畜飼養管理推進事業	中畜		0	237,417	237,417	0
馬インフル等防疫強化特別事業	中畜		0	543,070	543,070	0
農場HACCP認証普及推進事業	中畜		0	295,540	295,540	0
農場HACCP審査体制整備事業	中畜		0	672,153	672,153	0
地域自衛防疫対策事業	家衛協		0	615,000	615,000	0
養豚経営安定対策事業	機構		0	254,006	254,006	0
貸付事業指導等事業	リース協会		0	186,000	186,000	0
肉用牛産肉能力平準化事業	事業団		0	105,000	105,000	0
合 計			585,680,662	727,962,238	161,160,125	1,152,482,775

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替 マルキン基金を取崩し、マルキン補填金を交付するために振替えた額	76,916,200
合 計	76,916,200

14. 関連当事者との取引の内容  
該当なし。

15. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲及び重要な非資金取引  
該当なし。

16. 重要な後発事象  
該当なし。

17. その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項  
該当なし。